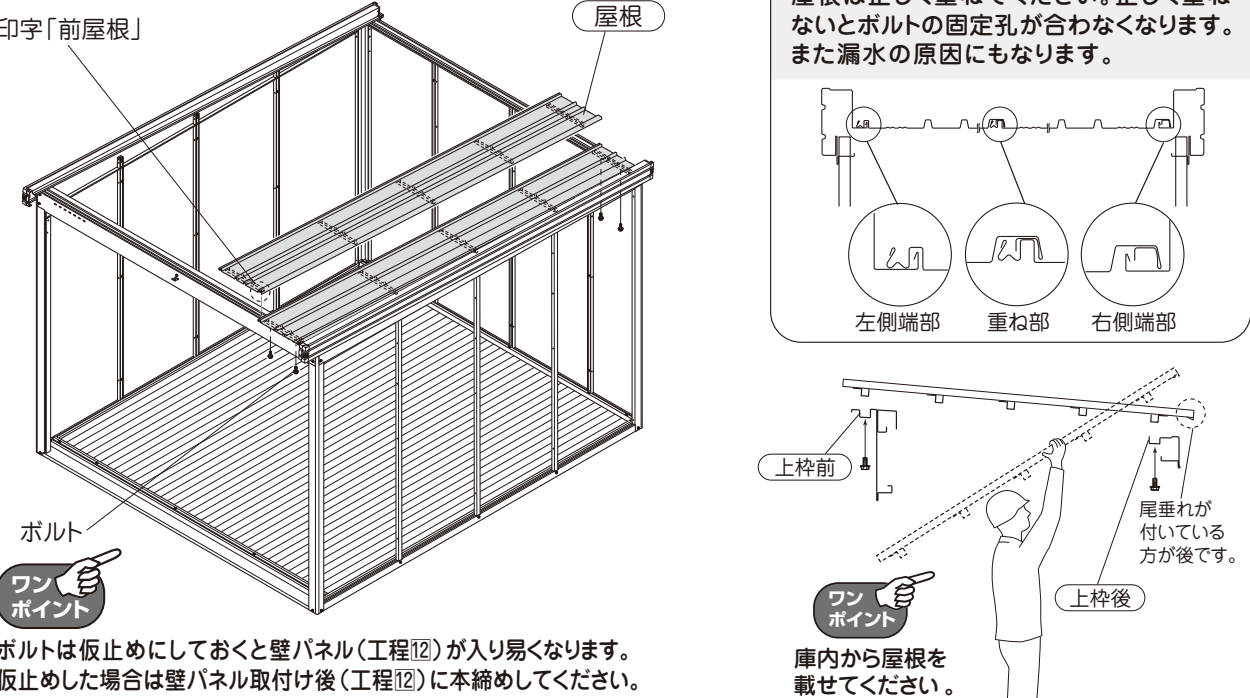
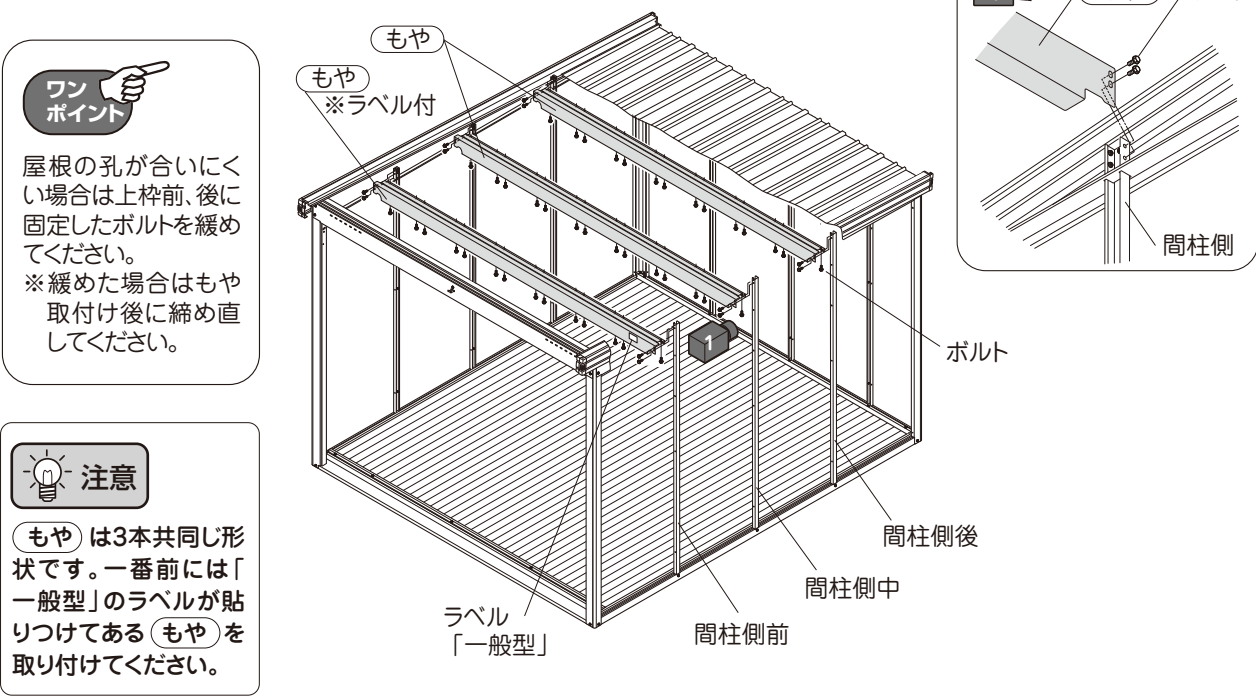




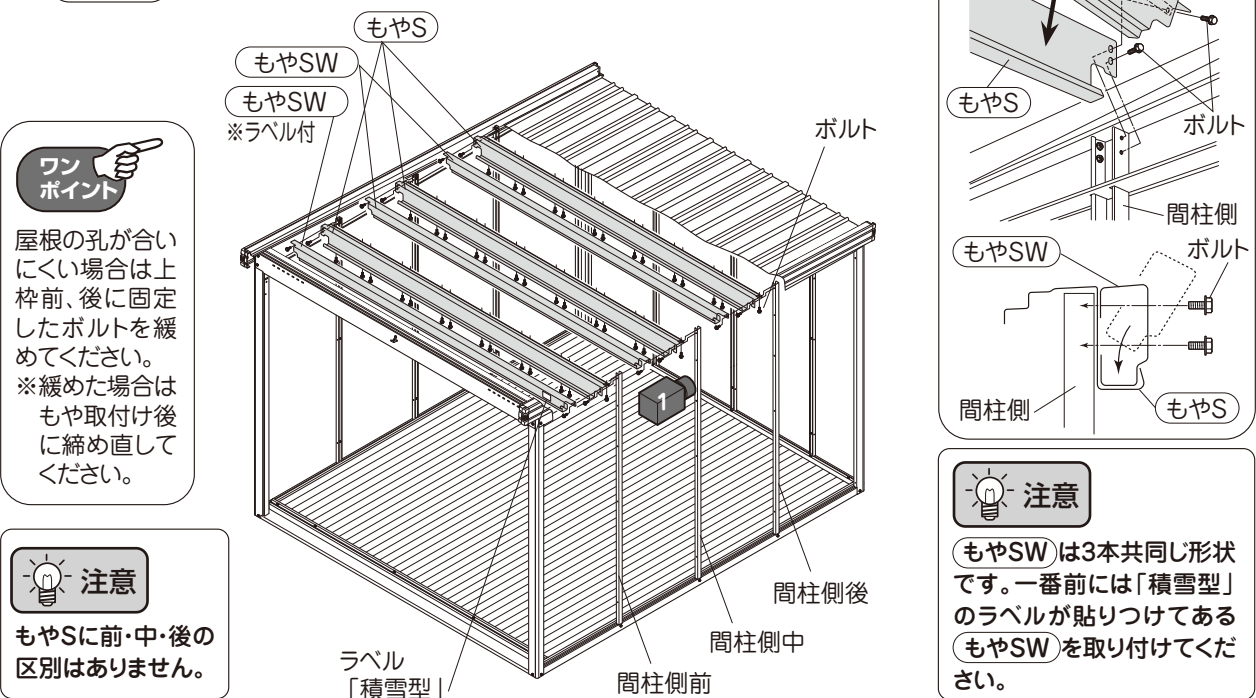
11-A もやの取付け●一般型の場合

- ① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**
- ② もや と屋根をボルト止めします。



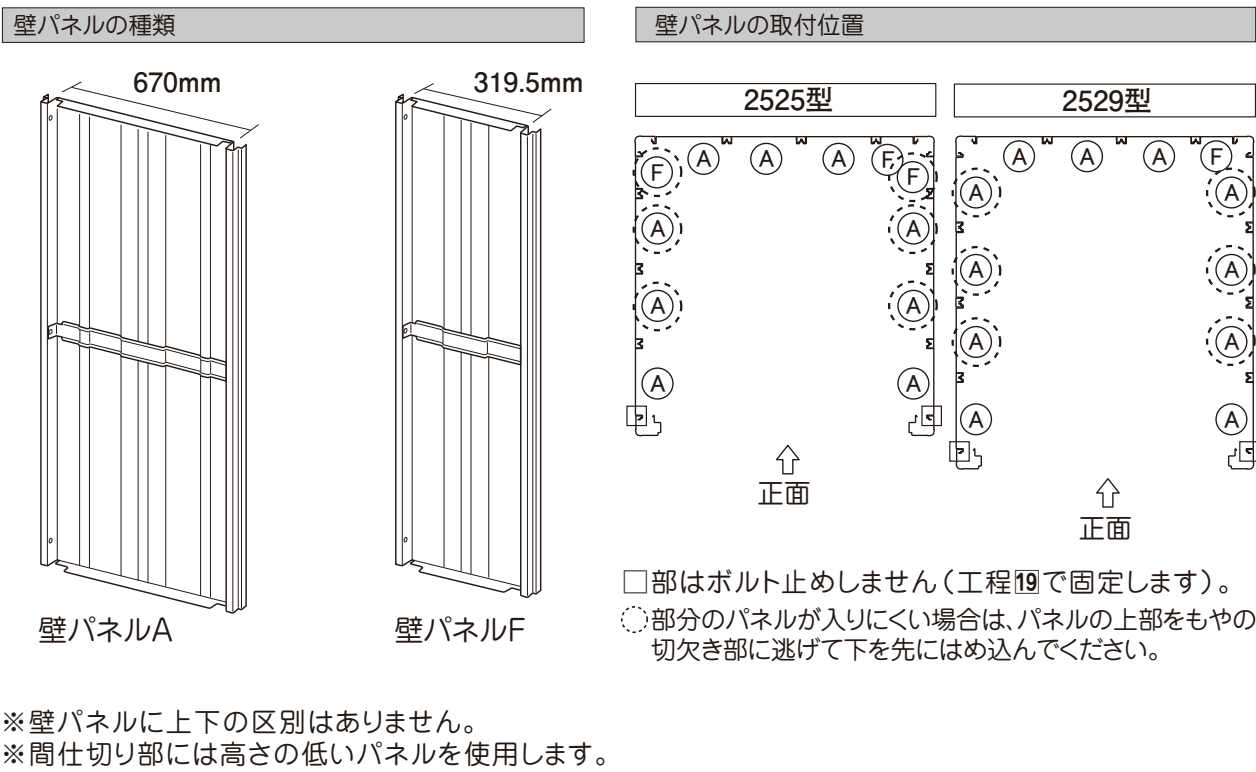
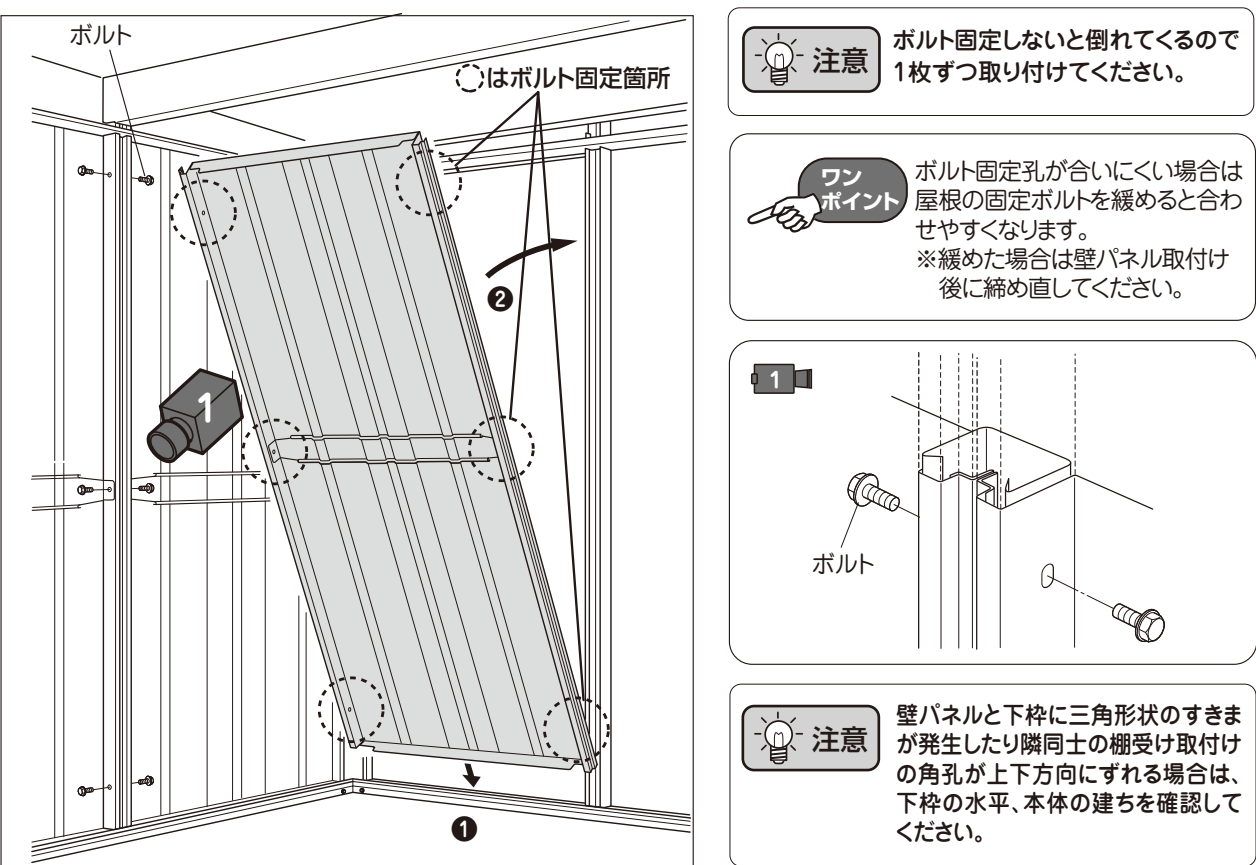
11-B もやの取付け●積雪型の場合

- ① もやS を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- ② 正面から(もやSW)を(もやS)に落としこみボルト止めします。**1**
- ③ もやS と屋根をボルト止めします。



12 壁パネルの取付け

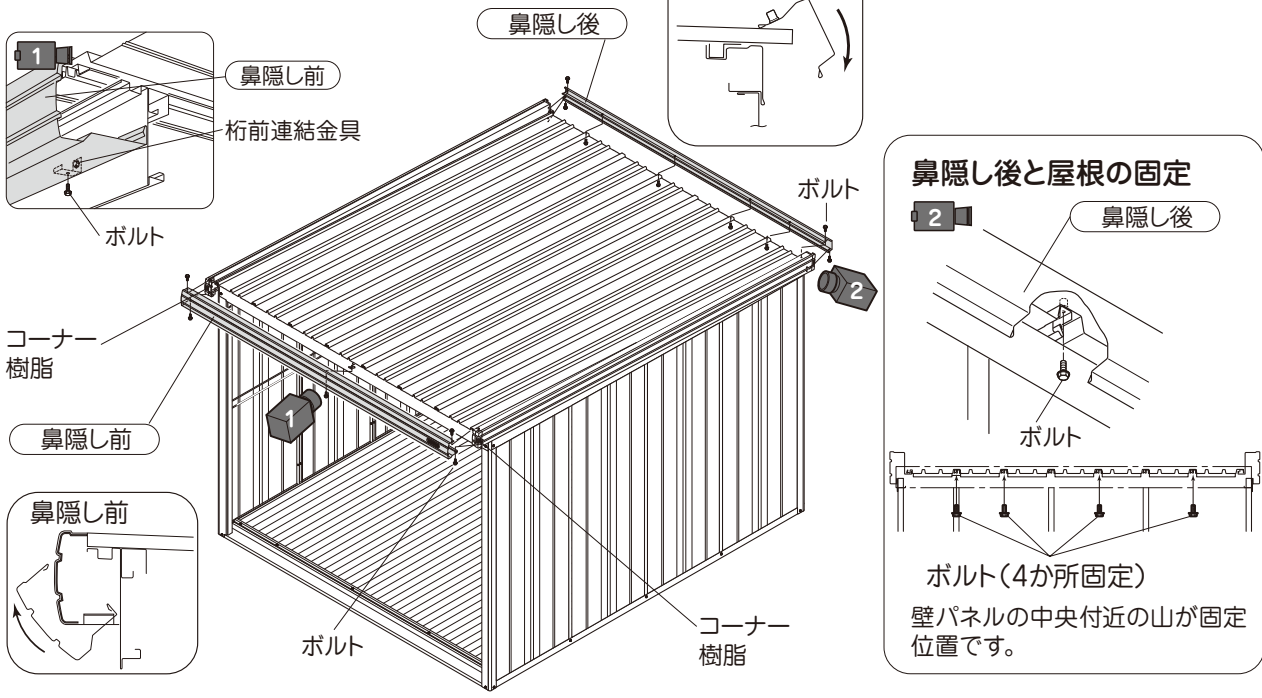
- ① 室内から(壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。**1**



※壁パネルに上下の区別はありません。
※間柱切り部には高さの低いパネルを使用します。

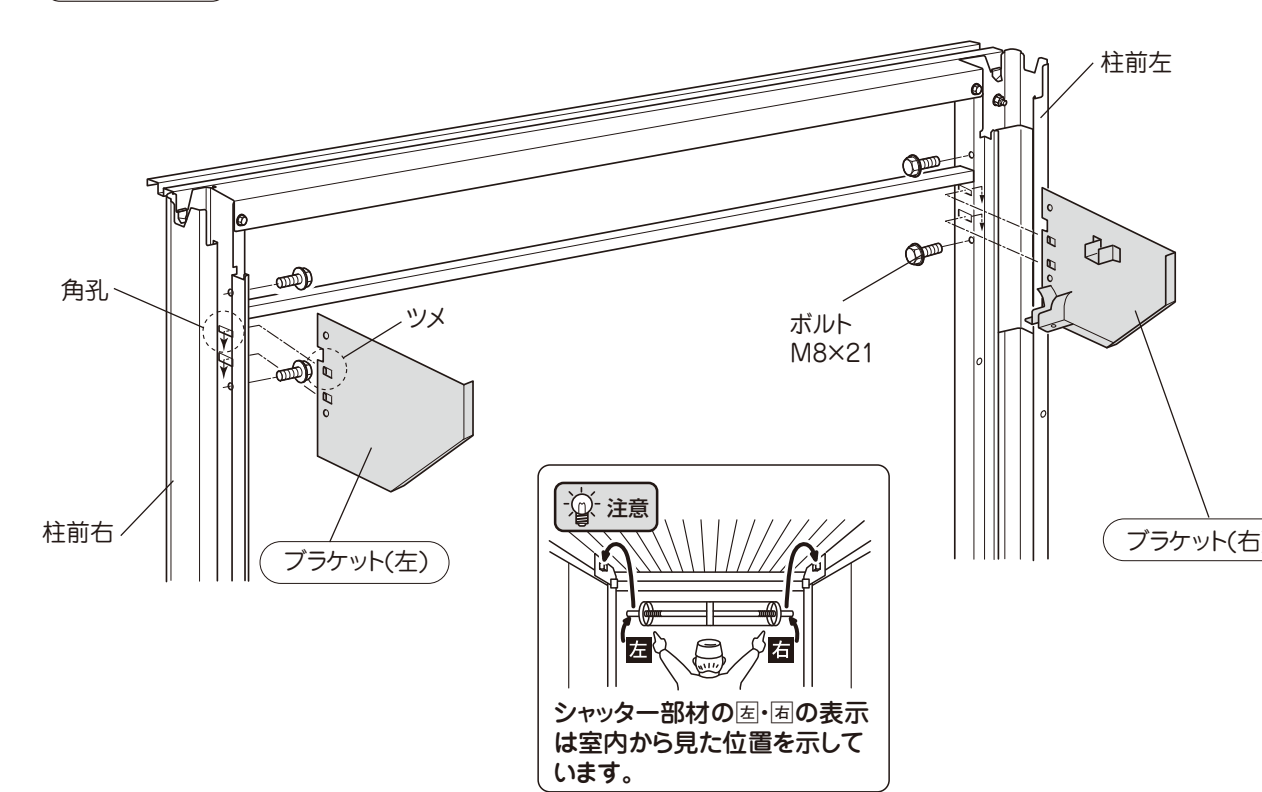
13 鼻隠しの取付け

- ①(鼻隠し前)・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- ②(鼻隠し前)の中央を桁前連結金具にボルト止めします。**1**
- ③(鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。**2**



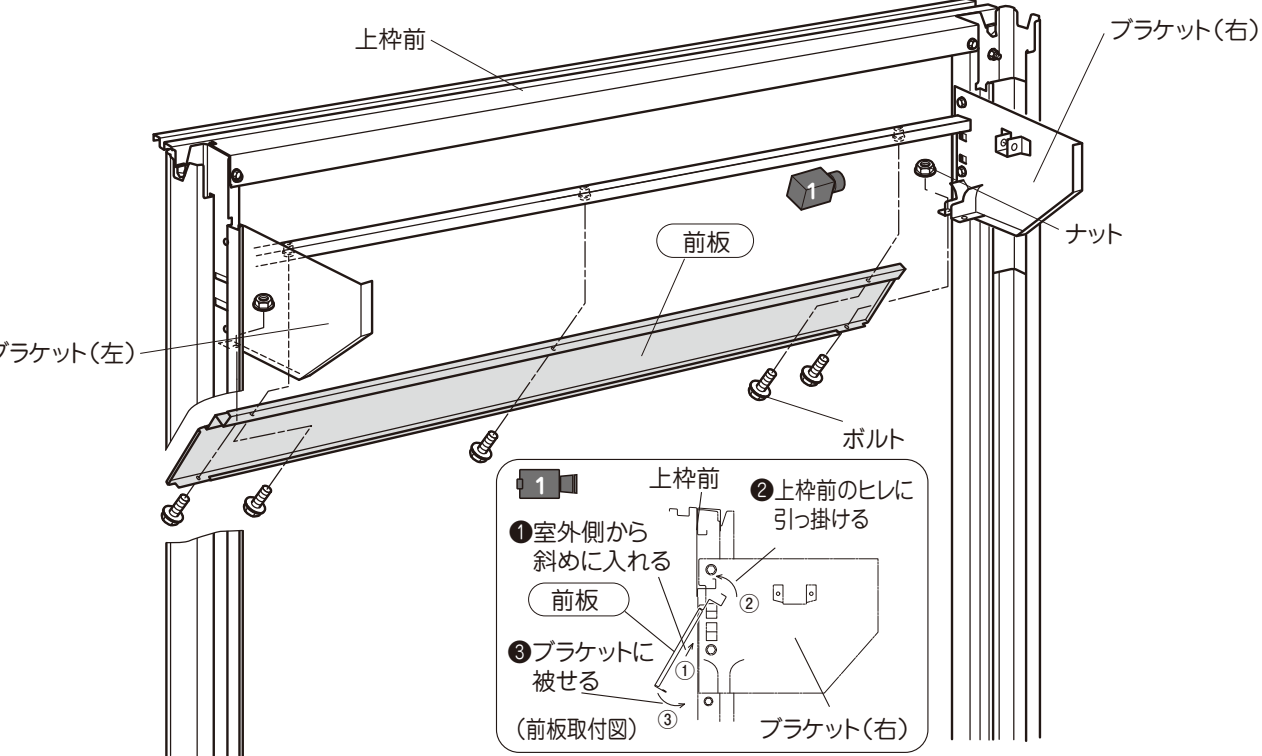
14 ブラケットの取付け

- ①(ブラケット左右)のツメを柱前左右の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。



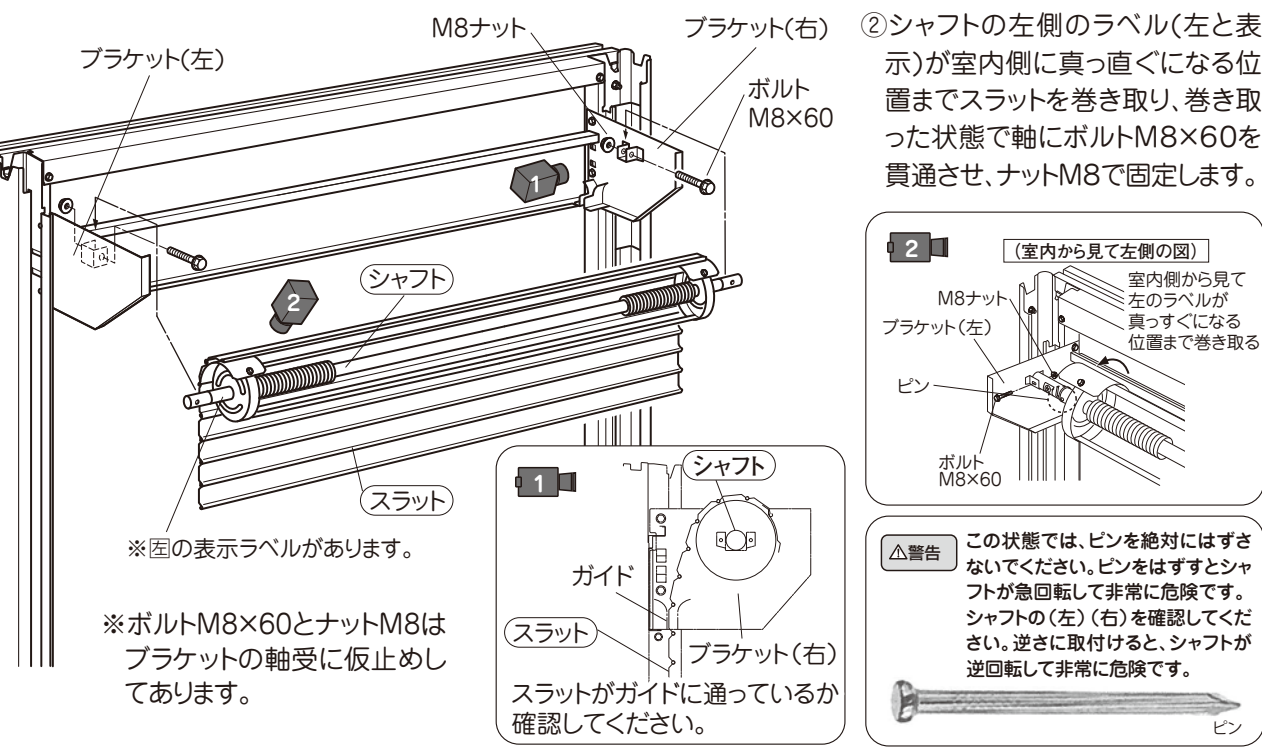
15 前板の取付け

- ①(前板)を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。**1**



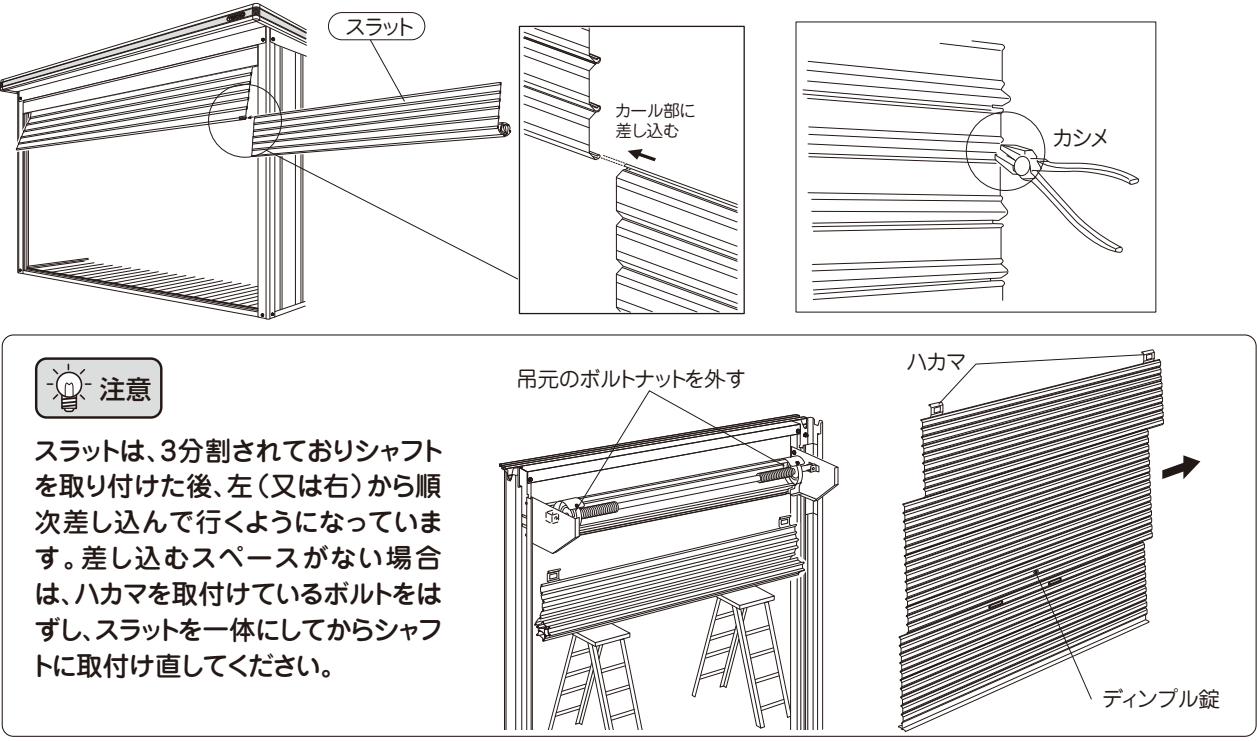
16 シャフトの取付け

- ①室内側から(シャフト)を軸受に載せ、(スラット)をブラケットのガイドに通します。(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

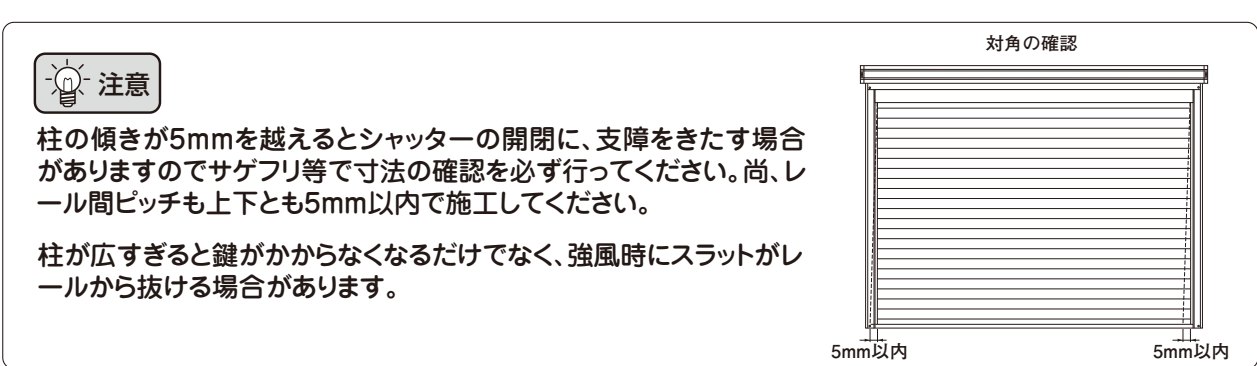


17 シャッタースラットの取付け

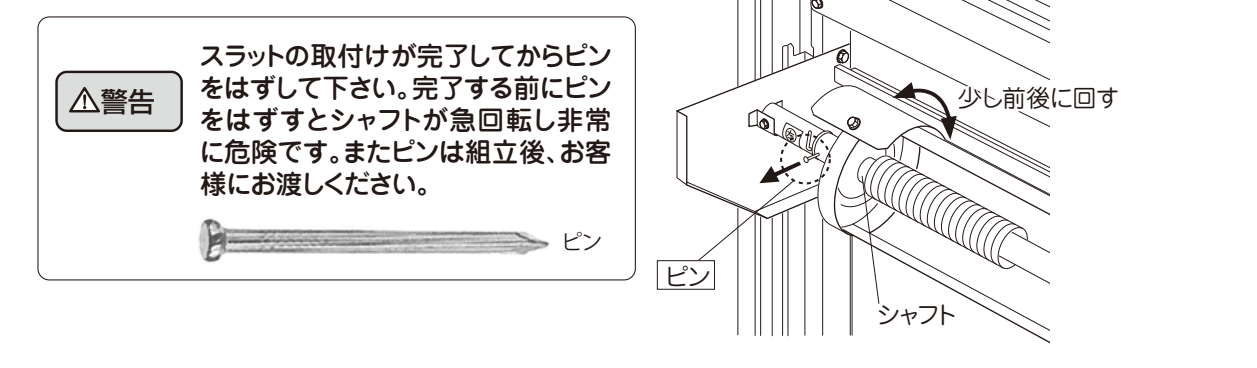
- ①上から(外錠付スラット)→(水切り付スラット)の順に室外側から差し込み、縦ぎ目の両端をベンチ等でかきして固定します。



- ②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

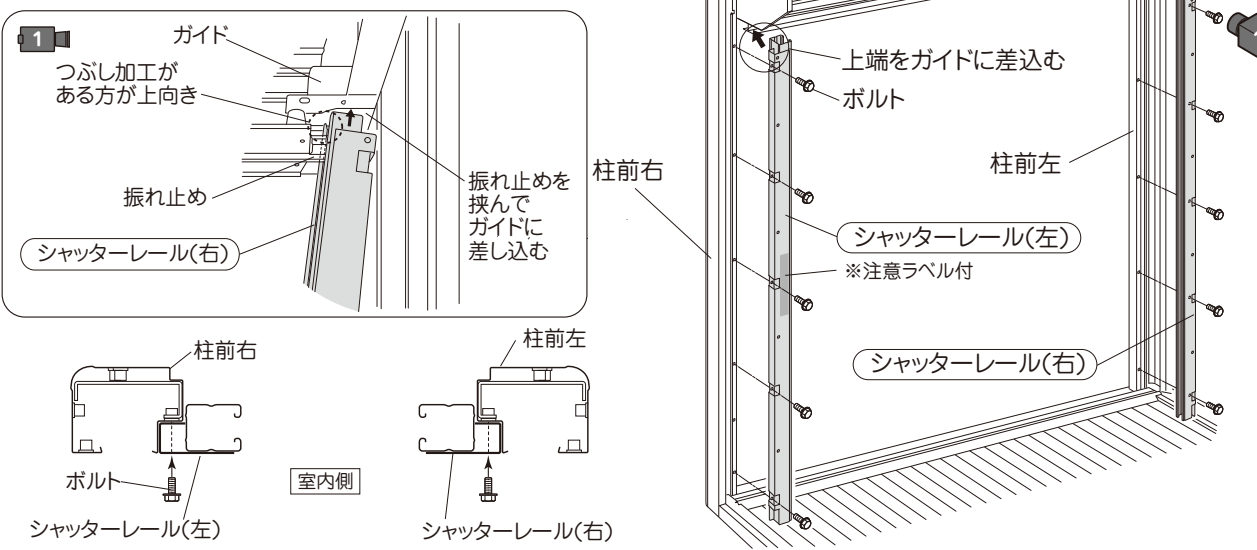


- ③スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。



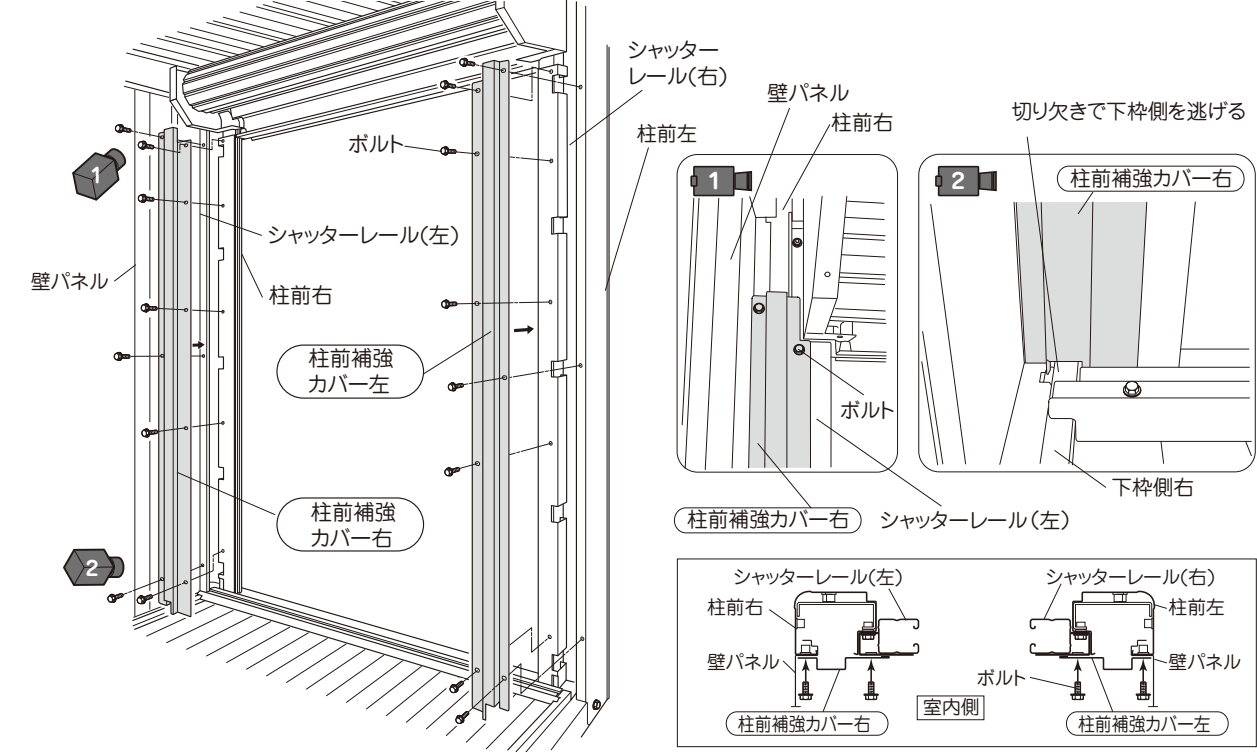
18 シャッターレールの取付け

- ①スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- ②(シャッターレール)の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。**1**
- ※シャッターレール(左)に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。



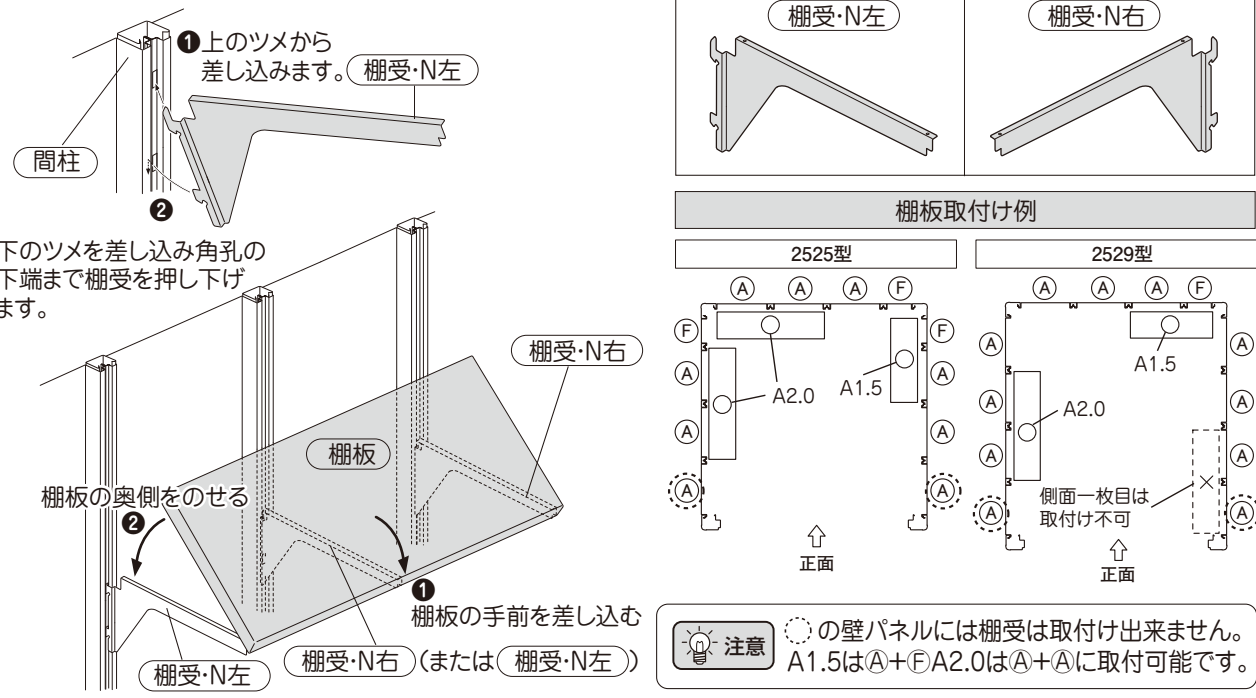
19 柱前補強カバーの取付け

- ①(柱前補強カバー左右)を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。



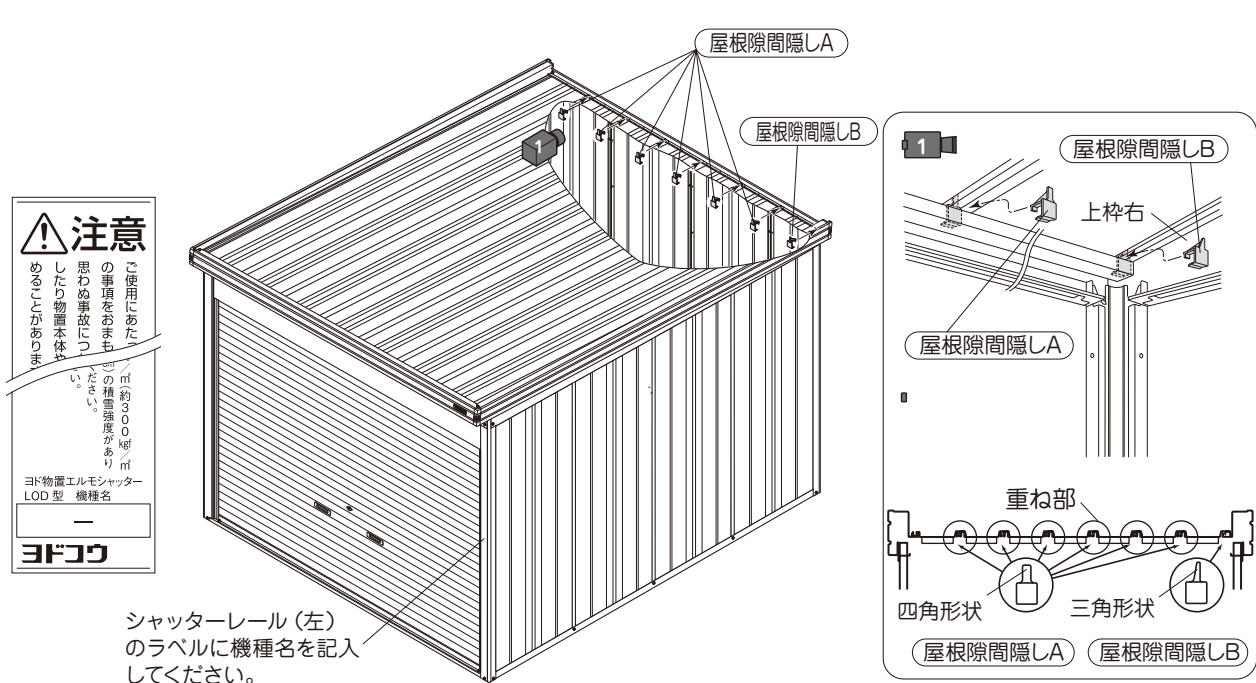
20 棚板の取付け

- ①(棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ②(棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.5が2枚、A2.0が2枚付いています。)



21 その他部品の取付け

- ①シャッターレール(左)の注意ラベルに`機種名`を記入します。
- ②(屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**



組立てチェック

- 組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。
- ①シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。
- ②鍵が正常に作動するかご確認ください。
- ③棚板の配置確認をしてください。
- ④機種名が記入されたか確認してください。(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)
- ⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。
- ⑥施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。

MEMO

チェック欄

①	②	③	④	⑤	⑥
---	---	---	---	---	---

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(L001/SI-2525HF-2529HF) 3F3F 淀川製鋼 (2020年A制作)